慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	フランス人の姓の起源
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.16, No.1 (1937. 4) ,p.146- 146
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19370400-0146

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

フランス人の姓の起原

我が國で百姓・町人などの一般平民に苗字を稱することを許されたのは、さほど舊いことではなく明治初年の庶政一新に基づくものであるが、フランスでは『フランス社會』の發生を見るに至つた第十一世紀の頃から一般に姓を稱することになつた。それまでは、Jean, Paul, Louis など生誕の際に附與せられるクリスチャン・ネーム（nom de baptême）一つしか有たなかつたのであるが、こゝに父子相傳の別の名卽ち姓が加はり、舊來の名が名（Prénom）となつたのである。セニョーボス（Ch. Seignobos, Histoire sincère de la nation française, p. 113—114）の說くところによれば、これは第五世紀以來何一つ永久的なるものは作られず、擾亂不安定の裡にあつたフランス人民が、漸く安定社會を見るに至つたことの一反映なのである。

フランス人の姓の起原は一樣ではなく、その個人の特質を示した Legrand（大男）Petit（小男）Lenoir（クロンボ）Lebeau（美男子）Legros（デブ）の如きものや、その職業を示した Meunier（粉挽き）Charon（車大工）Masson（石工）などがあり、しば〳〵その方言により變化して鍛冶工（Forgeron）から Fèvre, Favre, Faure, Haury. などが派生した。更に又地形 Dumont（山）、Dubois（林・森）、Dulac（湖）や動植物 Fougère（羊齒）、Leboeuf（牛）から出でたものもある。それに廢れたドイツの古名をとつて姓としたものもある（Gautier, Durand, Arnaud, Ratier, Gibert）。北方では父の名に接尾語、例へば英語の son, スカンヂナヴィヤ語の sen, スラヴ語の vitch などを附して姓を作る慣習があつたが、これはフランスでは行はれなかつた。（間崎万里）